

1

最初にお読みください

セットを確認する	1-2
充電する	1-3
電源を入れる／切る	1-7
各部の名前	1-8
画面の見かた	1-11
ボタンの使いかた	1-14
日時を設定する	1-18

セットを確認する

次のものが揃っているかどうかをご確認ください。万が一、不足のもの、破損品、取扱説明書の乱丁・落丁がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本体 WX220J (1台)



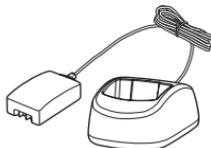
- 電池カバー (1個)
・本体に装着されています。



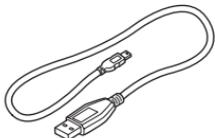
- リチウムイオン電池パック NBB-9320 (1個)



- 卓上充電器 NBA-9320 (1台)



- USBケーブル (A to Mini-B) (1本)



- 取扱説明書 (1部) (本書)
・裏表紙に保証書が付けています。

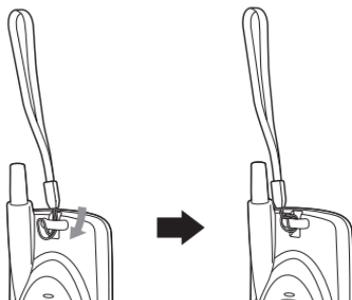
- CD-ROM (1枚)

ハンドストラップを取り付けるには

お手持ちのハンドストラップを取り付ける場合は、本体から外れないことを確認してから使用してください (図は取り付け例です)。

お知らせ

- ハンドストラップは同梱しておりません。



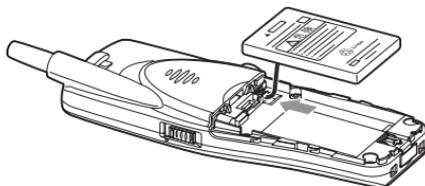
充電する

電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

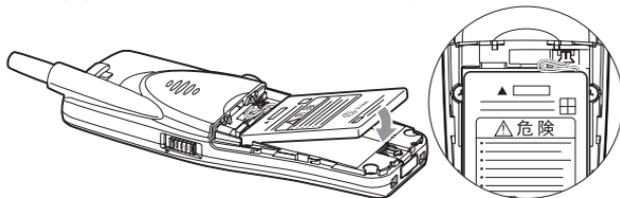
1 電池パックのコネクタを接続する

コネクタの向きを合わせて、最後まで確実に差し込みます。



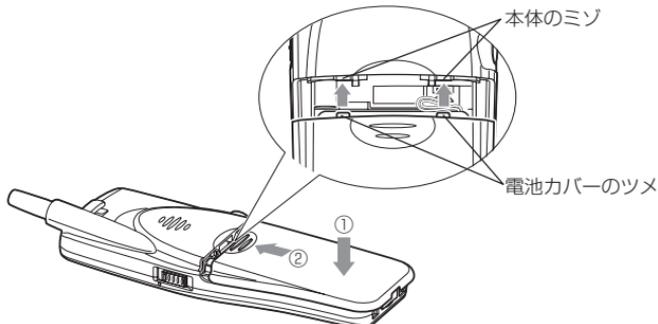
2 電池パックを収納する

電池パックを矢印の方向へ差し込み、コードを下図のように収納します。



3 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間に隙間が生じないように①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。



4 電池カバーと本体に大きな隙間がないことを確認する

ご注意

- 電池カバーを取り付ける際、電池パックのコードを、はさまないようにご注意ください。
- 電池カバーはゆるみのないようにしっかりと閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出す恐れがあります。

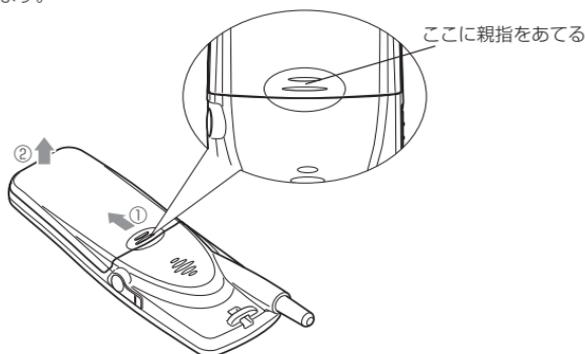
電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約1年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは、新しい電池パックと交換してください。交換用の電池パック（NBB-9320）は、本電話機をお買い上げの販売店で求められます。電池パックは次の手順で交換してください。

1 電源が入っているときは、を約2秒以上押して電源を切る

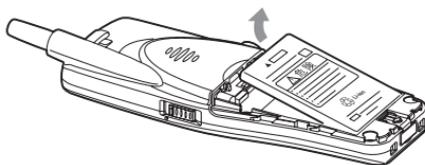
2 電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。



3 電池パックを取り外す

電池パックの先端を指で矢印方向に持ち上げ、コネクタ近くのコードを持って、本体と平行にゆっくりとコネクタを引き抜きます。



4 新しい電池パックを入れる

5 充電する

「卓上充電器で充電する」(※同じページ内です。)

ご注意

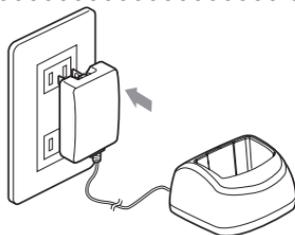
- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火の恐れがあるため、必ずコネクタ部にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。



卓上充電器で充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 卓上充電器の電源プラグをコンセント (AC100V) に差し込む



2 本電話機を卓上充電器に置く

充電が始まります。充電中は着信LEDが赤色に点灯し、画面に「」が点灯します。



3 着信LEDが消灯したら充電完了

充電が完了すると着信LEDが消灯し、「」の表示が「」に変わります。充電には約150分かかります。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上充電器に逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々充電端子を乾いた布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信LEDが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上充電器に置き直してください。それでも着信LEDが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入/切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機と卓上充電器の一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信LEDが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上充電器に戻すと、いったん着信LEDが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンをUSBケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」(P.10-2ページ)
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信LEDが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信LEDが点灯します。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

- ☐ 十分にあります。
- ほどほどあります。
- 少なくなりました。充電してください。

■ 電池がなくなったときは

「ピーピーピー」という警告音が鳴り、「電池がありません 充電してください」と表示されます。

通話中の場合は、警告音が鳴ってから約1分後に再度警告音が鳴り、通話が切れます。

満充電したときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間
公衆モード	約 7.5 時間	約 700 時間

オフィスモード、グループモード、電話帳転送モードおよびデュアルモードでの待受時間は、公衆モードでの待受時間より短くなります。

お知らせ

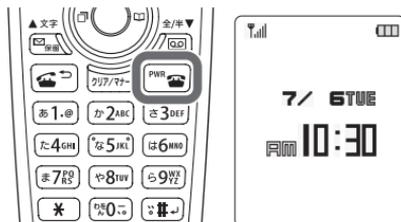
- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待受状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力や、インターネットのご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を約1秒以上押す

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。



待ち受け画面

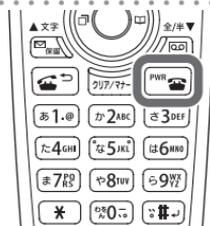
お知らせ

- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、転送モード、公衆+オフィスモード（デュアルモード）、公衆+グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時には「公衆モード」に設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「利用するモードを選ぶ」（※P 13-2ページ）

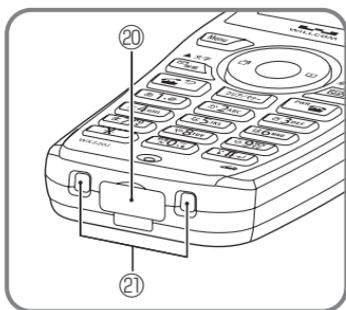
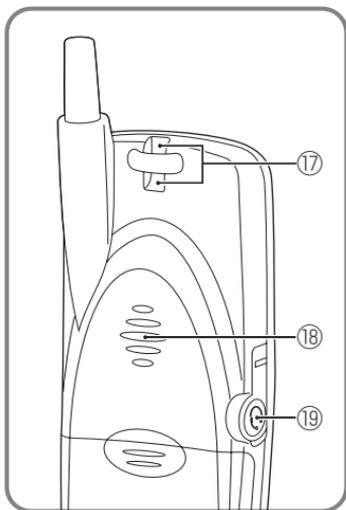
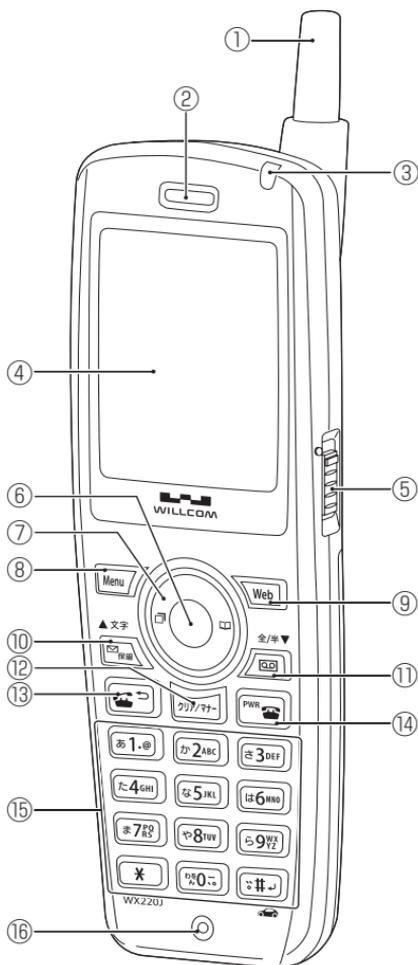
電源を切る

1 を約2秒以上押す

アニメーションが表示され、電源が切れます。



各部の名前



①アンテナ

「アンテナの使いかた」(※ 1-10 ページ)

②受話口 (レシーバ)

③着信LED

着信があったときなどに点滅します。「着信LED」(※ 12-9 ページ)

④画面

「画面の見かた」(※ 1-11 ページ)

⑤キーロックスイッチ

キーロックの設定/解除を行います。「ボタン操作をロックする (キーロック)」(※ 11-9 ページ)

⑥○決定ボタン

マイメニューを表示したり、画面に表示された項目を確認したりします。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。「マイメニューを利用する」(※ 7-60 ページ)「ガイドランス表示について」(※ 1-13 ページ)「ボタンの使いかた」(※ 1-14 ページ)

⑦

画面に「」や「」などが表示されているときは、矢印の方向に押すことで操作することができます。それぞれのボタンは、次のような機能を実行します。

① リダイヤル/着信履歴/ダイヤルメモを表示します。

② 電話帳を表示します。

③ 文字入力で漢字やカタカナに変換します。また、受話音量や着信音量を調節します。

④ 文字入力で漢字に変換します。また、受話音量や着信音量を調節します。

「ボタンの使いかた」(※ 1-14 ページ)

⑧  Menu ボタン

メニューを表示します。また、ソフトキーとして画面左下に表示された機能を実行します。「ガイドランス表示について」(※ 1-13 ページ)「ボタンの使いかた」(※ 1-14 ページ)

⑨  Web ボタン

Webメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面右下に表示された機能を実行します。「Webの利用を開始する」(※ 9-5 ページ)「ガイドランス表示について」(※ 1-13 ページ)「ボタンの使いかた」(※ 1-14 ページ)

⑩ 

メールメニューを表示します。また、入力する文字の種類を切り替えます。「メールメニューを表示する」(※ 8-4 ページ)「文字の種類を切り替える」(※ 4-2 ページ)

⑪ 

録音再生メニューを表示します。また、入力する文字の種類や全角と半角を切り替えます。「録音されたメッセージを再生する」(※ 7-58 ページ)「文字の種類を切り替える」(※ 4-2 ページ)

⑫ 

入力した番号や文字を消去します。また、操作中に前の画面に戻るときやマナーモードを設定/解除するときに押します。「文字を消去する」(※ 7-25 ページ)「マナーモードを設定する」(※ 7-46 ページ)

⑬ 

電話をかけたり受けたりするときに押します。また、ハンズフリー機能、スピーカ機能を利用するときに押します。「電話をかける」(※ 2-2 ページ)「手に持たずに通話する」(※ 7-13 ページ)

⑭ 

通話を終了します。また、電源の入/切、着信音の停止を行います。

⑮  (0) ~ (9)  

番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。「メニューについて」(※ 1-15 ページ)

⑯ 送話口 (マイク)

⑰ ストラップ取り付け穴

⑱ スピーカ

⑲ イヤホンマイク端子

市販のイヤホンマイクを接続します。「イヤホンマイク端子の使いかた」(※ 12-25 ページ)

⑳ USB 端子

USBケーブルでパソコンと接続できます。「パソコンと接続する」(※ 10-2 ページ)

㉑ 充電端子

「充電する」(※ 1-3 ページ)

お知らせ

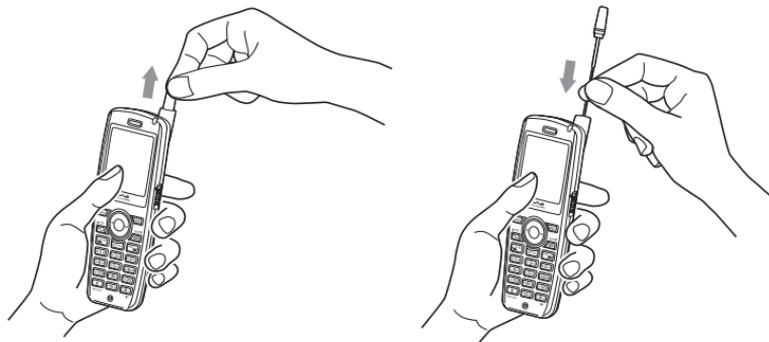
- ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納していても電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。

- アンテナを伸ばすときは、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。
- アンテナを収納するときはアンテナの根本を持ってまっすぐに下ろしてください。

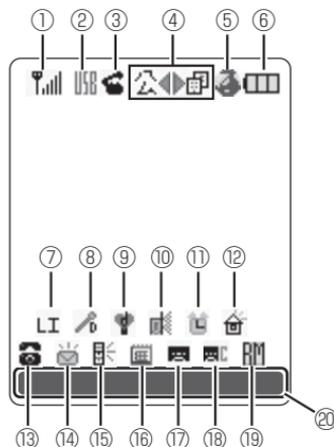
アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると、変形や破損の原因になります。



お知らせ

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。アンテナが破損する原因となります。

画面の見かた



① 圏外、 ~ (公衆モード)

受信している電波の強度が表示されます。電波が強いほど通話に適しています。 や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。圏外の場合は通話できません。電波が弱く通話できないときは、電波の強い場所へ移動してご使用ください。



待受モードを公衆+オフィスのデュアルモードに設定しているときは、公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態が のように表示されます。上が公衆、下がオフィスの状態を示します。 や の表示は、「OUT」側が圏外の状態を示します。

② USB

USBケーブルでパソコンと接続中表示されます。「パソコンと接続する」(※ 10-2ページ)

③

呼び出し中、通話中表示されます。「電話をかける」(※ 2-2ページ)

PT

4 x パケット、2 x パケット、または 1 x パケット通信中表示されます。「データ通信を行う」(※ 10-3ページ)

フレックスチェンジ方式で通信中表示されます。「データ通信を行う」(※ 10-3ページ)

64kPIAFSのベストエフォート通信中表示されます。「データ通信を行う」(※ 10-3ページ)

64kPIAFSのギャランティ通信中表示されます。「データ通信を行う」(※ 10-3ページ)

32kPIAFS通信中表示されます。「データ通信を行う」(※ 10-3ページ)

④

オフィスモード時に表示されます。「利用するモードを選ぶ」(※ 13-2ページ)

グループモード時または電話帳転送モード時に表示されます。「利用するモードを選ぶ」(※ 13-2ページ)

公衆+オフィスモード(デュアルモード)時に表示されます。 や は、優先発信側に表示されます。「利用するモードを選ぶ」(※ 13-2ページ)



公衆+グループモード（デュアルモード）時に表示されます。◀ や ▶ は、優先発信側に表示されます。「利用するモードを選ぶ」(※ 13-2ページ)



⑤ Webページの取得中やEメールの送受信中に表示されます。「Webページの基本的な操作」(※ 6-3ページ)「Eメールを送る」(※ 5-3ページ)「Eメールを受け取る」(※ 5-5ページ)



SSL通信中に表示されます。「SSL証明書の有効/無効を設定する」(※ 9-26ページ)



⑥ 電池残量が表示されます。「充電する」(※ 1-3ページ)



充電中に表示されます。「充電する」(※ 1-3ページ)「USB充電」(※ 12-4ページ)



USB充電中に表示されます。「USB充電」(※ 12-4ページ)



⑦ LI 着信型位置情報機能の設定時に表示されます。「着信型機能を利用する」(※ 12-24ページ)



⑧ ダイヤルロックの設定時に表示されます。「ダイヤルをロックする」(※ 11-10ページ)



⑨ マナーモードの設定時に表示されます。「マナーモードを設定する」(※ 7-46ページ)



着信音量が「OFF」に設定されているときに表示されます。「着信音量を設定する」(※ 7-44ページ)



⑩ バイブレータの設定時に表示されます。「バイブレータを設定する」(※ 7-45ページ)



⑪ 目覚ましの設定時に表示されます。「目覚ましを利用する」(※ 12-17ページ)



⑫ 留守録の設定時に表示されます。「留守録を設定/解除する」(※ 7-57ページ)



録音件数がいっぱいの際に表示されます。



安全運転モードの設定時に表示されます。「安全運転モードを設定する」(※ 7-47ページ)



⑬ 不在着信があったときに表示されます。「電話に出ないとき」(※ 7-9ページ)



データ通信の不在着信があったときに表示されます。「パソコン接続中に着信する」(※ 10-18ページ)



⑭ 新着メールがあるときに表示されます。「自動でEメールを受信する」(※ 8-13ページ)「ライトメールを受信する」(※ 8-46ページ)



未読メールがあるときに表示されます。「自動でEメールを受信する」(※ 8-13ページ)「ライトメールを受信する」(※ 8-46ページ)



⑮ ウィルコムメールサーバーにEメールがあるときに表示されます。「Eメールを受信する」(※ 8-13ページ)



本電話機のメモリがいっぱいでEメールを受信できなかったときに表示されます。「Eメールを受信する」(※ 8-13ページ)



⑯ 未確認のスケジュールがあるときに表示されます。「スケジュールを登録する」(※ 12-12ページ)



⑰ 未再生の録音データがあるときに表示されます。「通話録音を再生する」(※ 7-12ページ)「メモ録音を再生する」(※ 7-53ページ)「録音されたメッセージを再生する」(※ 7-58ページ)



⑱ 留守番電話センターにメッセージがあるときに表示されます。「留守番電話サービスを利用する(有料)」(※ 12-39ページ)



⑲ ローミングモードの設定時に表示されます。「ローミングモードに切り替える」(※ 12-33ページ)

㊫ キーロック

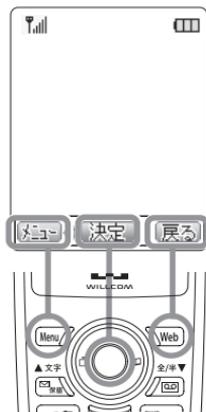
キーロックの設定時に表示されます。「ボタン操作をロックする (キーロック)」(※ 11-9ページ)

メニュー 決定 戻る

「ガイダンス表示について」(※ 同じページ内です。)

ガイダンス表示について

画面の下端には、Menu (Menu ボタン)、○ (決定ボタン)、Web (Web ボタン) のその時点の機能が表示されます。



本書では、ボタンのあとに、対応するガイダンスを (メニュー) (決定) (戻る) のように表記しています。画面に「」や「」などが表示されているときに、矢印の方向へ  ボタンを操作することができます。本書ではボタンを、操作する方向に合わせ 、 のように表記しています。

ボタンの使いかた

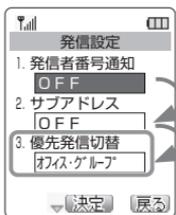
項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことで、さまざまな機能を実行します。項目の選択と決定の操作には、 ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法とがあります。

ボタンで選択するには

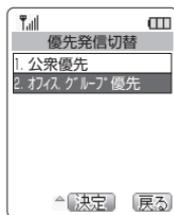
1 ボタンで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、 で項目を選択します。例えば「1. 発信者番号通知」が選択された状態から「3. 優先発信切替」を選択する場合は、 を2回押します。



2 (決定) を押す

「優先発信切替」の画面が表示されます。

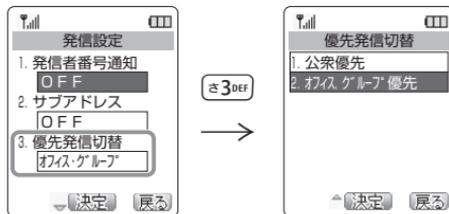


ダイヤルボタンで選択するには

選択肢に「1.」、「2.」、「3.」…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が選択されます。

1 ダイヤルボタンを押す

例えば「3. 優先発信切替」を選択する場合は  を押します。



メニューについて

待ち受け画面で **Menu** (Menuボタン) を押しとメニューが表示されます。メニューから本電話機の各機能を使用することができます。

メニューの項目は  で選択して **決定** を押しす方法で実行できるほか、 で示したダイヤルボタンで実行することもできます。



例えば、「着信音量・バイブ」を実行する場合は、次のように操作します。

1 待ち受け画面で **Menu** (Menuボタン) を押す

メニューが表示されます。



2 を押して「音」を選択する

▶ ダイヤルボタン (**1666**) を押したときは

手順3の **決定** を押しす操作が省略されて、手順3の画面が表示されます。



3 **決定** を押す

「音」のメニューが表示されます。



4 を押して「着信音量・バイブ」を選択する

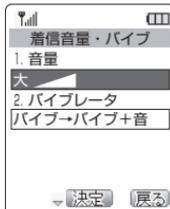
▶ ダイヤルボタン (**1666**) を押したときは

手順5の **決定** を押しす操作が省略されて、手順5の画面が表示されます。



5 **決定** を押す

「着信音量・バイブ」のメニューが表示されます。



共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

画面の下端に「戻る」または「キャンセル」が表示されているときは、1つ前の画面に戻ることができます。



■画面に「戻る」が表示されているときは

- 1 **Web** (戻る) または **キャンセル** を押す

1つ前の画面に戻ります。

■画面に「キャンセル」が表示されているときは

- 1 **Web** (キャンセル) を押す

操作が取り消されて、1つ前の画面に戻ります。

待ち受け画面に戻る

- 1 **待ち受け** を押す

登録や設定が取り消されて、待ち受け画面に戻ります。

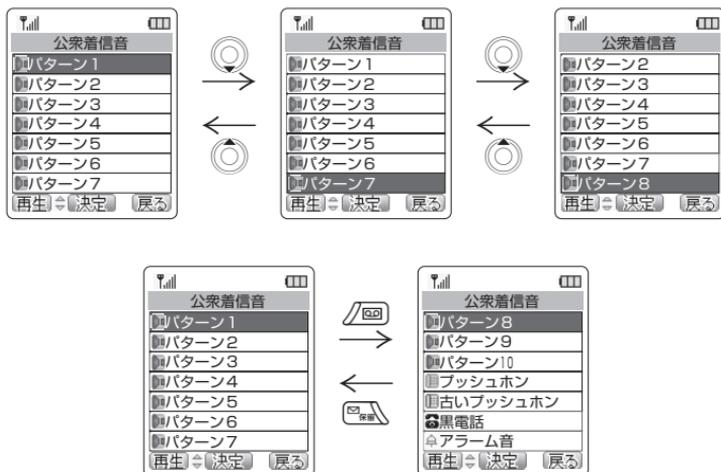
お知らせ

- 通話中に操作を行う場合は、**待ち受け** を押すと通話が切れてしまうため、操作を終了するときは **Web** (戻る) または **キャンセル** を押してください。

スクロールする

一覧表示の画面では、を押して、画面を上下にスクロールすることができます。を約1秒以上押し続けると高速スクロールとなります。

またはを押して、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることもできます。



日時を設定する

本電話機の使用開始前に、画面に表示する日時を設定してください。日時が正しくないと、着信履歴やメールなどの日時も正しく表示されません。

ネットワーク側から時刻情報を受信し、自動的に時刻を補正することもできます。

設定できる範囲は、2002年1月1日0時0分から2099年12月31日23時59分までです。

1 待ち受け画面で (Menuボタン) を押す

メニューが表示されます。



2 で「その他」を選択する



3 (決定) を押す

「その他」のメニューが表示されます。

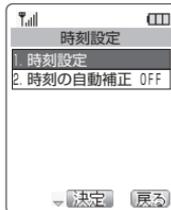


4 で「時刻設定」を選択する



5 (決定) を押す

「時刻設定」のメニューが表示されます。

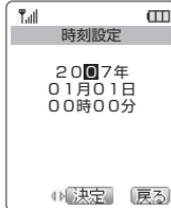


6 (決定) を押す

年月日を入力する画面に、現在の設定内容が表示されます。

▶ 「1.時刻設定」が選択されていないときは

 で「1.時刻設定」を選択してから  (決定) を押してください。



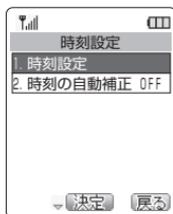
7 で年月日または時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、 ~ で正しい年月日と時刻を入力する

年は、西暦の下2桁を入力します。

1桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて、「01」のように入力してください。

8 ○ (決定) を押す

日時が設定され、「設定しました」と表示されます。

**9** [戻る] を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「2007年01月01日00時00分」に設定されています。
- 設定した時刻は、電池パックを交換する際にも保持されますが、故障、修理、その他取扱いの不注意によってリセットされることがあります。その場合は、再度日時を設定してください。
- 時計の精度は、1か月に±60秒程度です(25℃常温の条件時)。
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「時刻の自動補正」(※P.12-6ページ)

